

## 株式会社三倉食品

沖縄そばスープ製造機械導入による  
生産性向上・新ビジネスモデル構築

代表取締役社長 佐久間 健治

## Background

## 経緯

当社では、専門店が提供するような沖縄そばを家庭でも簡単・気軽に食べられるように、麺もスープも自社工場で製造してきた。しかしスープの製造においては昔ながらの方法であったため、非常に効率が悪く、時間やエネルギーのロス、大きな人的負担、品質維持への懸念などさまざまな問題を抱えていた。そこで新規設備を導入し、これまでの問題を根本から改善するとともに、生産性の向上と空き時間を利用した新たなビジネスモデルの構築を目指し、さらなる市場開拓や沖縄の食文化の継承・発展につなげようと本事業の活用に至った。



生産効率を向上させた充填機

## Content

## 事業内容

スープ製造の効率の悪さは、長年使用してきた充填機の性能が芳しくなかったことが大きな要因であった。そこで包装機をホット充填仕様にし、それに合わせて冷水タンクとスープ釜を導入した。機器は全て異なるメーカーであったが、それぞれに知恵や情報を出し合い、当社に適したシステムが実現した。また本事業と同時にエントリーしたエネルギー使用の合理化における新設備とも連動させ、作業の効率アップとともに、製造に関わる動力を抑制しながら生産性をあげることを実現した。

## Result

## 成果

充填機の性能の良さは、作業の効率化や品質の安定に顕著に現れた。商品を原料からパック製品化するまでの製造時間を大幅に短縮(約半分)。生産性が向上し、浮いた時間を有効利用することができ工場全体の稼働が高まった。さらに製品については日持ちが向上した。また、製造過程において人的負担の重かった部分も大きく改新され、労働環境の改善にもつながり大変良かった。

製造の効率がよくなったことで省エネルギー化が図れ、CO<sub>2</sub>の削減などにもつながっている。環境保全に貢献できることの意義も大きい。



本格的な沖縄そばが味わえる「そばつゆ」

## Outlook

## 今後の展望

本事業を通し多くのことを学んだ。沖縄そばのスープに関しては、この設備を利用してパイオニア的な取り組みにつなげていきたい。そしてスープに限らず広い視野でものづくりをしていきたい。本事業に対しては、成果を確実に活かしていくことが恩返しだと考えている。この想いを新商品の開発へとつなげ沖縄の産業振興に貢献できるよう努めていく。

■代表者名／代表取締役社長 佐久間 健治  
■設立年／昭和48年  
■所在地／〒903-0105 沖縄県中頭郡西原町東崎4-10  
■電話番号／098-945-2959  
■FAX／098-945-2999

■U R L／<http://www.mitukura.jp/>  
■資本金／2,000万円  
■従業員数／48人  
■業 種／麺製造業